

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年6月9日まで（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。	
主要運用対象	ベビーファンド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

第10期（決算日：2022年6月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）」は、去る6月9日に第10期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

米国が金融政策正常化を前倒しで始めたことや、ロシアによるウクライナ侵攻をきっかけとした地政学リスクが高まったことに加え、供給網混乱による商品の調達難や、インフレの長期化や中国の都市封鎖の影響による需要減少などが懸念されて、ビューティー・ビジネス関連企業の株価は軟調に推移しました。

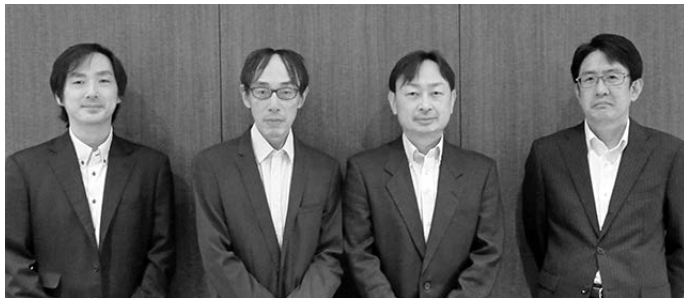
運用のポイント

世界的な高いブランド力や、高成長が続くオンライン、中国本土での販売力を重視し、引き続き「PROCTER & GAMBLE CO/THE」、「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」、「L'OREAL」などの欧米有力化粧品メーカーを上位に組み入れたポートフォリオを維持しました。中国の新型コロナウイルス対策の影響に対する懸念はあるものの、世界的には経済正常化の動きはさらに進んでいくものと見込んでいます。経済正常化が進む米国では大手化粧品小売りチェーンの売上げが回復するなど、対面でのミーティングの増加や旅行需要の回復に伴ってメイクアップを牽引役とした化粧品需要や免税品販売の回

復も期待しています。当ファンドでは、組入上位の大手化粧品メーカーのほか、これらの経済正常化の恩恵が大きい化粧品専門の小売店、空港での免税店運営企業などにも注目しています。

運用環境の見直しおよび今後の運用方針

ビューティー市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及といった構造的な成長要因により、中長期にわたり着実な成長が見込まれる、という見方に変更はありません。短期的には、ウクライナ情勢や中国のコロナ対策などを背景にした供給網の混乱や、インフレや景気後退による需要減少に対する懸念が残っているものの、このような構造的な成長要因を背景に、経済の正常化に伴う外出機会の増加や旅行需要の回復が原動力となって、ビューティー市場は安定的な成長の軌道に戻っていくものと予想しています。当ファンドでは、ビューティー市場の構造的な成長からの恩恵を享受すると考えられる企業を中心に投資を行います。また、ビューティー市場の動向を常に精査しながら、ポートフォリオの調整や新規銘柄の発掘などを行い、今後もパフォーマンスの向上に努めてまいります。



株式運用部
ファンドマネージャー

西 直人

安井 陽一郎

秋元 政隆

小島 直人

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比	式率 先物比	純資 産額
		税分	込配 み金	期騰 落中率			
	円		円		%	%	百万円
6期(2020年6月9日)	9,624		0	△ 2.0	94.8	—	6,082
7期(2020年12月9日)	10,000		951	13.8	90.8	—	4,427
8期(2021年6月9日)	10,000		925	9.3	94.0	—	4,175
9期(2021年12月9日)	10,000		600	6.0	96.9	—	5,124
10期(2022年6月9日)	8,448		0	△15.5	97.9	—	4,712

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組 入比	式率 先物比	式率
		騰落	率			
(期首)	円		%		%	%
2021年12月9日	10,000		—	96.9	—	—
12月末	10,186		1.9	97.3	—	—
2022年1月末	9,268		△ 7.3	95.3	—	—
2月末	9,253		△ 7.5	95.2	—	—
3月末	9,055		△ 9.5	95.6	—	—
4月末	8,760		△12.4	95.5	—	—
5月末	8,430		△15.7	97.0	—	—
(期末)						
2022年6月9日	8,448		△15.5	97.9	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

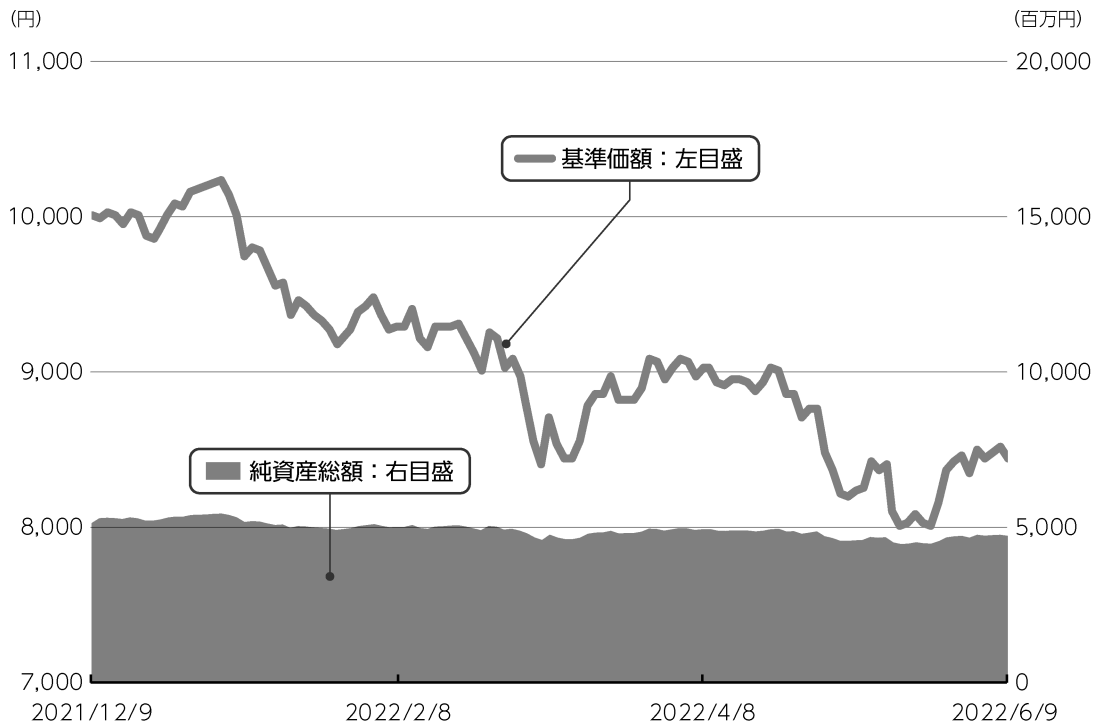
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第10期：2021年12月10日～2022年6月9日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第10期首	10,000円
第10期末	8,448円
既払分配金	0円
騰落率	-15.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ15.5%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

組入銘柄（ファンケル、INMODE LTD、STRAUMANN HOLDING AG-REG）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

第10期：2021年12月10日～2022年6月9日

▶ 投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は下落しました。

世界の株式市況は、インフレの高止まりを背景とした米国の急速な金融引き締め

やロシアによるウクライナ侵攻を受けた地政学リスクの高まりが、世界的な景気に悪影響をもたらすと懸念されたことなどから下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。

興国）、「新しい販売手法」、「ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組み」の4点に着目した運用を行いました。通貨別では、米ドルの比率を引き上げた一方、スイスフランや円などの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の売買を行い、期首の36銘柄から1銘柄減少し、期末は35銘柄としました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「ブランド力」、「新

主な銘柄入替は以下の通りです。

アクティブユーザー数が想定を下回りビジネスモデルの持続性が懸念されたため、医療美容情報プラットフォームを運営する中国のインターネットメディア企業

「SO-YOUNG INTERNATIONAL-ADR」の全売却を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。

（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第10期
	2021年12月10日～2022年6月9日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	311

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジあり）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

短期的には、ウクライナ情勢や中国の新型コロナウイルス対策などを背景にした供給網の混乱、インフレや景気後退による需要減少に対する懸念が残っています。しかしながら、経済正常化が進む米国では大手化粧品小売りチェーンの売上げが回復するなど、グローバルに経済正常化が進んでいけば、ビューティー市場はより安定的な成長の軌道に戻っていくものと予想しています。

こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESGへの取り組み」の4点に注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場

拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。

さらに、近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけではなく、スキンケアやメイクといった美容分野にデジタル技術やITを組み合わせた製品・サービス「ビューティーテック」が個人への最適化に向いているとして注目しています。また、ESGへの取り組みがブランド力や企業の持続性を高めるとの観点から、リサイクル可能な容器やオーガニック素材を使用した商品開発のみならず、女性の地位向上に向けた社会貢献活動や、多様な人材が活躍できる職場環境の整備、などにも注目しています。

当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

2021年12月10日～2022年6月9日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	82	0.900	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(40)	(0.439)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.016	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(1)	(0.016)	
(c) 有価証券取引税	1	0.010	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.010)	
(d) その他費用	1	0.015	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	85	0.941	

期中の平均基準価額は、9,069円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

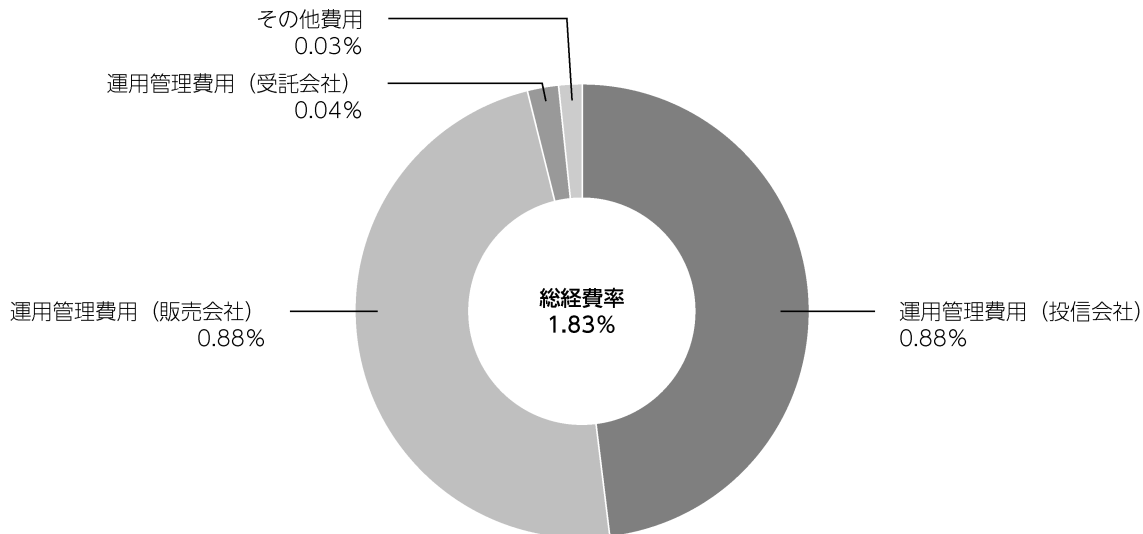
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2021年12月10日～2022年6月9日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 402,705	千円 676,160	千口 487,221	千円 813,830

○株式売買比率

（2021年12月10日～2022年6月9日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ビューティー・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	4,672,602千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	26,903,959千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.17	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2021年12月10日～2022年6月9日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 1,372	百万円 13,469	10.2	百万円 1,026	百万円 12,614	8.1

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 155	百万円 3,274	4.7	百万円 381	百万円 1,397	—
為替直物取引	599	2,293	26.1	1,131	—	33.7

平均保有割合 17.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	767千円
うち利害関係人への支払額 (B)	20千円
(B) / (A)	2.7%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年6月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	2,890,302	2,805,786	4,751,599

○投資信託財産の構成

(2022年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	4,751,599	97.9
コール・ローン等、その他	102,767	2.1
投資信託財産総額	4,854,366	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（24,733,719千円）の投資信託財産総額（28,122,523千円）に対する比率は87.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=134.46円	1 ユーロ=144.03円	1 イギリスポンド=168.49円	1 スイスフラン=137.33円
1 香港ドル=17.13円	100韓国ウォン=10.69円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年6月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,848,015,370
コール・ローン等	102,766,741
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	4,751,599,679
未収入金	3,993,648,950
(B) 負債	4,135,735,995
未払金	4,079,375,195
未払解約金	11,928,503
未払信託報酬	44,348,435
未払利息	96
その他未払費用	83,766
(C) 純資産総額(A-B)	4,712,279,375
元本	5,577,905,675
次期繰越損益金	△ 865,626,300
(D) 受益権総口数	5,577,905.675口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,448円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,124,488,291円
 期中追加設定元本額 752,815,658円
 期中一部解約元本額 299,398,274円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8448円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は865,626,300円です。

③分配金の計算過程

項 目	2021年12月10日～ 2022年6月9日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	128,192,065円
分配準備積立金額	45,440,968円
当ファンドの分配対象収益額	173,633,033円
1万口当たり収益分配対象額	311円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2021年12月10日～2022年6月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 8,024
受取利息	76
支払利息	△ 8,100
(B) 有価証券売買損益	△773,145,193
売買益	29,055,705
売買損	△802,200,898
(C) 信託報酬等	△ 44,704,489
(D) 当期損益金(A+B+C)	△817,857,706
(E) 前期繰越損益金	45,440,968
(F) 追加信託差損益金	△ 93,209,562
(配当等相当額)	(127,442,624)
(売買損益相当額)	(△220,652,186)
(G) 計(D+E+F)	△865,626,300
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△865,626,300
追加信託差損益金	△ 93,209,562
(配当等相当額)	(128,192,065)
(売買損益相当額)	(△221,401,627)
分配準備積立金	45,440,968
繰越損益金	△817,857,706

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第10期》決算日2022年6月9日

[計算期間：2021年12月10日～2022年6月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、6月9日に第10期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
6期(2020年6月9日)	12,268	△ 1.0		97.7	—	29,829
7期(2020年12月9日)	14,052	14.5		97.4	—	21,033
8期(2021年6月9日)	16,252	15.7		98.5	—	19,875
9期(2021年12月9日)	17,609	8.3		97.6	—	27,433
10期(2022年6月9日)	16,935	△ 3.8		97.1	—	28,122

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
(期 首) 2021年12月 9 日	円 17,609	% 97.6	% —
12月末	18,163	3.1	97.5
2022年1月末	16,500	△6.3	95.8
2月末	16,519	△6.2	96.0
3月末	16,969	△3.6	96.0
4月末	16,854	△4.3	95.9
5月末	16,257	△7.7	96.8
(期 末) 2022年 6 月 9 日	16,935	△3.8	97.1

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.8%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

円に対して米ドルが上昇したことが、プラスに寄与しました。

(下落要因)

組入銘柄（ファンケル、INMODE LTD、STRAUMANN HOLDING AG-REG）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

●投資環境について

◎株式市況

・世界の株式市況は下落しました。
世界の株式市況は、インフレの高止まりを背景とした米国の急速な金融引き締めやロシアによるウクライナ侵攻を受けた地政学リスクの高まりが、世界的な景気に悪影響をもたらすと懸念されたことなどから下落しました。

◎為替市況

・円に対して米ドル、ユーロは上昇しました。

- 当投資信託のポートフォリオについて
 - ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。
 - ・当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組み」の4点に着目した運用を行いました。
 - ・通貨別では、米ドルの比率を引き上げた一方、スイスフランや円などの比率を引き下げました。
 - ・組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の売買を行い、期首の36銘柄から1銘柄減少し、期末は35銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

アクティブユーザー数が想定を下回りビジネスモデルの持続性が懸念されたため、医療美容情報プラットフォームを運営する中国のインターネットメディア企業「SO-YOUNG INTERNATIONAL-ADR」の全売却を行いました。

○今後の運用方針

- ・短期的には、ウクライナ情勢や中国の新型コロナウイルス対策などを背景にした供給網の混乱、インフレや景気後退による需要減少に対する懸念が残っています。しかしながら、経済正常化が進む米国では大手化粧品小売りチェーンの売上げが回復するなど、グローバルに経済正常化が進んでいけば、ビューティー市場はより安定的な成長の軌道に戻っていくものと予想しています。

- ・こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESGへの取り組み」の4点に注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのももちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。
- ・さらに、近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけではなく、スキンケアやメイクといった美容分野にデジタル技術やITを組み合わせた製品・サービス「ビューティーテック」が個人への最適化に向いているとして注目しています。また、ESGへの取り組みがブランド力や企業の持続性を高めるとの観点から、リサイクル可能な容器やオーガニック素材を使用した商品開発のみならず、女性の地位向上に向けた社会貢献活動や、多様な人材が活躍できる職場環境の整備、などにも注目しています。
- ・当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年12月10日～2022年6月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 3 (3)	% 0.016 (0.016)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.010 (0.010)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (1)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	6	0.034	
期中の平均基準価額は、16,662円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月10日～2022年6月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 122	千円 435,871	千株 —	千円 —
	外 国	百株 719	千アメリカドル 14,606	百株 2,324	千アメリカドル 9,664
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	92	5,005	—	—
	イギリス	254	千イギリスポンド 1,014	236	千イギリスポンド 1,455
	スイス	6 (333)	千スイスフラン 2,051 (—)	—	千スイスフラン —

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年12月10日～2022年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,672,602千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	26,903,959千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.17

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月10日～2022年6月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	3,274	155	4.7	1,397	—	—
為替直物取引	2,293	599	26.1	1,131	381	33.7

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	4,323千円
うち利害関係人への支払額 (B)	119千円
(B) / (A)	2.8%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年6月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数	金 額	株 数	金 額	評 価 額
化学 (100.0%)	千株		千株		千円
花王	62.5		62.5		332,000
資生堂	172.4		205.1		1,141,381
マンダム	14.5		14.5		21,750
ミルボン	8.8		8.8		45,056
ファンケル	405.2		494.7		1,174,417
コーセー	2.1		2.1		26,208
ポーラ・オルビスホールディングス	10.8		10.8		17,344
合 計	株 数	金 額	株 数	金 額	評 価 額
	676		798		2,758,158
	銘 柄 数 < 比 率 >		7		< 9.8% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,780	1,875	14,600	1,963,200	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	586	707	18,948	2,547,804	家庭用品・パーソナル用品	
JOHNSON & JOHNSON	224	224	3,971	533,950	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	1,369	1,214	17,616	2,368,694	家庭用品・パーソナル用品	
CLOROX COMPANY	553	253	3,398	456,968	家庭用品・パーソナル用品	
ALIGN TECHNOLOGY INC	2	2	78	10,540	ヘルスケア機器・サービス	
COOPER COS INC/THE	110	110	3,784	508,885	ヘルスケア機器・サービス	
LULULEMON ATHLETICA INC	125	185	5,693	765,580	耐久消費財・アパレル	
ULTA BEAUTY INC	113	220	9,358	1,258,354	小売	
CHURCH & DWIGHT CO INC	596	596	5,213	700,968	家庭用品・パーソナル用品	
ABBVIE INC	399	399	5,955	800,719	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COTY INC-CL A	802	802	577	77,642	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	856	983	10,587	1,423,648	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	370	370	2,660	357,703	消費者サービス	
SMILEDIRECTCLUB INC	553	553	75	10,112	ヘルスケア機器・サービス	
ENVISTA HOLDINGS CORP	1,239	1,239	5,229	703,201	ヘルスケア機器・サービス	
SO-YOUNG INTERNATIONAL-ADR	1,746	-	-	-	メディア・娯楽	
INMODE LTD	718	804	2,096	281,940	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,142 18	10,537 17	109,846 -	14,769,915 <52.5%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BETERSDORF AG	142	142	1,348	194,215	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	142 1	142 1	1,348 -	194,215 <0.7%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	179	220	13,268	1,911,089	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	433	484	15,838	2,281,191	家庭用品・パーソナル用品	
INTERPARFUMS SA	1,058	1,058	5,395	777,157	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,670 3	1,763 3	34,502 -	4,969,437 <17.7%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,812 4	1,905 4	35,851 -	5,163,652 <18.4%>	
(イギリス)			千ギリスポンド			
UNILEVER PLC	1,982	2,236	8,222	1,385,474	家庭用品・パーソナル用品	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	1,132	896	5,488	924,824	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,114 2	3,132 2	13,711 -	2,310,298 <8.2%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG	22	25	8,835	1,213,413	素材	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	34	370	4,428	608,220	ヘルスケア機器・サービス	
DUFREY AG-REG	703	703	2,639	362,518	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	759 3	1,098 3	15,904 -	2,184,153 <7.8%>	
(香港)			千香港ドル			
L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	2,550	2,550	6,247	107,019	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,550 1	2,550 1	6,247 -	107,019 <0.4%>	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(韓国) LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE	百株 2	百株 2	千韓国ウォン 200,736	千円 21,458	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 2	2	200,736	21,458	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 0.1% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 20,381	19,225	—	24,556,498	
	銘 柄 数 < 比 率 >	29	28	—	< 87.3% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2022年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 27,314,656	% 97.1
コール・ローン等、その他	807,867	2.9
投資信託財産総額	28,122,523	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（24,733,719千円）の投資信託財産総額（28,122,523千円）に対する比率は87.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=134.46円	1 ユーロ=144.03円	1 イギリスポンド=168.49円	1 スイスフラン=137.33円
1 香港ドル=17.13円	100韓国ウォン=10.69円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年6月9日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	28,122,523,812	
コール・ローン等	678,705,257	
株式(評価額)	27,314,656,866	
未収入金	84,928,681	
未収配当金	44,233,008	
(B) 負債	585	
未払利息	585	
(C) 純資産総額(A-B)	28,122,523,227	
元本	16,606,152,793	
次期繰越損益金	11,516,370,434	
(D) 受益権総口数	16,606,152,793口	
1万口当たり基準価額(C/D)	16,935円	

<注記事項>

- ①期首元本額 15,579,150,607円
 期中追加設定元本額 1,514,223,715円
 期中一部解約元本額 487,221,529円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.6935円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	13,800,366,150円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	2,805,786,643円
合計	16,606,152,793円

○損益の状況 (2021年12月10日～2022年6月9日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	248,704,785	
受取配当金	248,780,409	
受取利息	822	
その他収益金	15,836	
支払利息	△ 92,282	
(B) 有価証券売買損益	△ 1,330,885,393	
売買益	4,106,980,008	
売買損	△ 5,437,865,401	
(C) 保管費用等	△ 2,266,154	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,084,446,762	
(E) 前期繰越損益金	11,853,919,382	
(F) 追加信託差損益金	1,073,506,285	
(G) 解約差損益金	△ 326,608,471	
(H) 計(D+E+F+G)	11,516,370,434	
次期繰越損益金(H)	11,516,370,434	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。